

SDGs未来都市等進捗評価シート

2020年度選定

熊本県水俣市

2022年9月

SDGs未来都市計画名

自治体SDGsモデル事業
又は特に注力する先導的取組

水俣市 SDGs未来都市計画

～みんなが幸せを感じ、笑顔あふれる元気なまちづくり～

-

1. 全体計画（2030年のあるべき姿）

(1) 計画タイトル

水俣市 SDGs 未来都市計画 ～みんなが幸せを感じ、笑顔あふれる元気なまちづくり～

(2) 2030年のあるべき姿

第6次水俣市総合計画における目指す将来像「みんなが幸せを感じ 笑顔あふれる元気なまち 水俣」

2019年、本市においては、2026年を目標年次とする「第6次水俣市総合計画」を策定した。総合計画を策定するに当たっては、SDGsの理念に基づいて地域経営を進めることを想定していたため、目指す将来像に、そのコンセプトを反映させている。

将来像の、「みんなが幸せを感じ」は、誰1人取り残さない、「笑顔あふれる元気なまち」は、経済・社会・環境が元気で、そこに住む人たちは笑顔である、という意味を持つ。

(3) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた優先的なゴール



(4) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2021年（現状値）	2030年（目標値）	達成度（%）
1	市内総生産 【2.3,8.1,8.2,8.3,8.9,9.5,11.2】	2016年 861 億円	2019年 846 億円	2026年 885 億円	-62.5%
2	事業者による新商品・新技術開発件数（累計） 【2.3,8.1,8.2,8.3,8.9,9.5,11.2】	2018年度 1 件	2021年 3 件	2026年 7 件	33.3%
3	観光入込客数（宿泊者数） 【2.3,8.1,8.2,8.3,8.9,9.5,11.2】	2018年度 81,758 人	2021年 55,876 人	2026年 91,000 人	-280%
4	次世代育成事業参加者数（累計）【4.4】	2018年度 854 人	2021年 3,238 人	2026年 9,000 人	29.3%
5	子育て支援サービスが充実し、子育てしやすい環境だと感じる保護者の割合【4.4,5.4,17.17】	2017年 10.9 %	2017年以降調査未実施 (2022年度調査予定)	2026年 50.0 %	-
6	3大死因による死亡者の割合 【3.2,3.4,4.1,4.2】	2018年度 46.2 %	2019年 47.4 %	2026年 45.0 %	-100%
7	市全体の温室効果ガス排出量の削減率（2005年を基準年とする。）【7.2】	2017年度 34.0 %	2020年 24.6 %	2026年 36.8 %	-336%
8	リサイクル率【12.5,17.17】	2018年度 39.4 %	2021年 35.4 %	2026年 48.0 %	-47%
9	海と川のクリーンアップ作戦参加者数【14.1,17.17】	2018年度 823 人	2019年度は台風、 2020年度、2021年度はコロナにより中止	2026年 1,000 人	-

(5) 「2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

観光入込客数については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、最終目標に対する進捗は芳しくないが、2020年度値と比較すると約3,000人増と回復してきているところであり、引き続き感染症の状況を見極めながら観光客の誘客や効果的なPRを行い、観光入込客の呼び込みを図っていく。

温室効果ガス排出量の削減について、削減率が下がった原因として、運輸部門における軽油使用量の増加や、二酸化炭素排出係数が高い新電力使用の増加が考えられる。

子育て支援サービスが充実し、子育てしやすい環境だと感じる保護者の割合については、2022年度調査実施予定。

情報発信の取り組みについては、広報紙へのSDGsコラムの連載や、SDGs特集の掲載を行ったほか、水俣市SDGs取組事例集「私たちのSDGs in みなまた」を作成し、市内のSDGsの取り組みについて、市内外へ周知を図った。

1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2020年～2022年

(1) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況

No	取組名	指標名	当初値	2020年実績	2021年実績	2022年実績	2022年目標値	達成度(%)
1	活力ある地場企業づくり	事業者による新商品・新技術開発件数（累計）	2018年度 1件	2020年度 1件	2021年度 3件		2022年 4件	67%
2	地域資源を活かした観光の振興	観光入込客数（宿泊者数）	2018年度 81,758人	2020年度 52,779人	2021年度 55,876人		2022年 91,000人	-280%
3	地産地消と“みなまたブランド”づくり	中山間地での作物導入数	2018年度 0品目	2020年度 2品目	2021年度 2品目		2022年 2品目	100%
4	豊かな心で未来に挑戦する人づくり	スポーツキッズサポーター関連事業実施数	2018年度 1事業	2020年度 2事業	2021年度 2事業		2022年 3事業	50%
5	地域を担う人材の育成	水俣環境アカデミアによる研修受入事業数（累計）	2018年度 28事業	2020年度 62事業	2021年度 72事業		2022年 130事業	43%
6	元気に老い、いきいきと生きがいのあるまちづくり	通いの場（まちかど健康塾、もやい・ふれあい菜園）参加者数	2018年度 685人	2020年度 720人	2021年度 350人		2022年 924人	-140%
7	地域における温室効果ガス排出量の削減	市全体の温室効果ガス排出量の削減率（2005年を基準年とする。）	2017年度 34.0%	2018年度 39.3%	2019年度 24.6%		2022年 35.0%	-940%
8	ごみの分別適正化と減量	リサイクル率	2018年度 39.4%	2020年度 36.9%	2021年度 35.4%		2022年 45.0%	-71%
9	協働による環境保全活動の推進	海と川のクリーンアップ作戦参加者数	2018年度 823人	2020年度中止	2021年度中止		2022年 1000人	-

1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2020年～2022年

(2) 自律的好循環の形成へ向けた制度の構築等

2020年度に熊本県、県内SDGs未来都市（熊本市、小国町、本市）及びSDGsに知見のある県内企業と協働で創設した「熊本県SDGs登録制度」について、2021年度においては第1期及び第2期と募集を行い、第1期で442事業者（うち市内：5事業者）、第2期で570事業者（うち市内：6事業者）の登録を行い、本市のSDGsの取組の「見える化」を図った。

(3) 「自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

通いの場（まちかど健康塾、もやい・ふれあい菜園）参加者数について、まちかど健康塾事業にあつては、新型コロナウイルス感染症の影響により開催できたのは予定の7割程度となったが、休止期間中は訪問等により参加者の現状把握や生活機能の低下防止に努めた。また、もやい・ふれあい菜園事業にあつては、2020年度までは5地区で実施していたが、2021年度に4地区が地域の自主的な活動へ移行したため、本市事業としての参加者が減少している。（2022年度には残りの1地区も移行予定。）

温室効果ガスの排出量については運輸部門において排出量が特に増加しているため、公共交通の使用促進やエコドライブの推奨を行っていく。

リサイクル率については、粗大ごみの増加によりリサイクル率が低下しているが、ごみの総量及び埋立量は減少しており、環境負荷の低減が図れている。

「環境ビジネスにおける企業立地」については、2020年度において2件、2021年度において1件あり、2022年度までに1件としていた目標を達成した。

(4) 有識者からの取組に対する評価

- ・水俣企業支援センターの活動や、創業支援事業補助の推進について具体的に評価する仕組みとともに、特に環境関連ビジネス、循環ビジネスなどについて水俣環境モデルの先進性を活用するスパイラル展開につなげる等の検討を期待する。
- ・温室効果ガス削減、リサイクルについては、更なる取組の発展を期待する。